

新型肺炎の猛威が吹き荒れる中、WHOの権威は下降し株価は上昇している

新型肺炎の勢いがますます盛んである。この伝播の勢いは2009年の新型インフルエンザに似ているといわれる。しかしながら、2009年のインフルエンザの感染者数は2.7日毎に倍となっていたのに対し、今回の新型肺炎はその初期には1.6日毎に感染者数が倍になっていた。

中国当局の感染者数の発表では、この勢いが遅くなってきているが、本日の日本経済新聞「新型肺炎 収束に時間」には識者の意見として、感染者数は「現時点で10万人以上」「2月4日に武漢市だけで感染者数が約20万人に達した」「1月25日に武漢市に7万5千人の感染者」など、中国当局発表の数字を大きく上回る感染者の発生が疑われている。

中国当局発表の感染者数は次ページの左図の通りである(Wikipedia、2019年-2020年中国武漢における肺炎の流行、より)。

日本経済新聞 2020.2.6

| | 新型コロナウイルス | 新型インフルエンザ | 重症急性呼吸器症候群(SARS) |
|----------|-----------|------------------|------------------|
| 流行期間 | 2019年～ | 2009年～ | 2002～03年 |
| 感染者数 | 約2万5000人 | 10年3月までに日本で2千万人超 | 約8千人 |
| 致死率 | 約2% | 0.5%未満 | 約10% |
| 感染が広がる地域 | 中国、日本など | メキシコなど | 中国、台湾、シンガポールなど |
| 主な症状 | 肺炎、発熱 | 発熱、せき | 発熱、下痢 |

中国の湖北省武漢市で発生した新型コロナウイルスによる肺炎の感染者数が5日で約2万5千人に達した。症状が出ていない潜伏期間中に人から人へ感染した可能性が

新型肺炎 収束に時間

感染者 武漢7.5万人超も 致死率 1%未満の見方

【関連記事3、4、11面、社会面】
厚生労働省は5日、横浜沖に停泊し検査を受けていたクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」の乗客ら10人から新型コロナウイルスの感染が見つかったと発表した。国内の感染者は計35人(午後9時時点)となった。乗客らをしばらく船内にとどめ、日本全土へ感染が広がるリスクを抑えようとしている。問題は肺炎や発熱などの症状がない人も含め、すでに国内外で感染が広がっていることだ。

北海道大学の西浦博教授は「現時点で10万人以上が感染している可能性がある」との見方を示す。SARSは02年11月にメキシコなどで流行した新型インフルエンザに近い広がり方をしているのではないかと、大槻名譽教授とみる専門家は多い。

似ているのが致死率の低さや症状だ。09年の新型インフルエンザの致死率は0.5%未満とされる。約10%のSARSより数字が近く、発熱など症状も似ている。

感染力について世界保健機関(WHO)は、患者1人から1.4～2.5人にうつっているとの数値を示している。東京農工大学の水谷哲也教授は、1人の発症者が多くの人に感染を広げる「スーパーフレグダー」(鳥取大学の大槻公一)がまた見つかったのではないかと推測する。感染力は今後同程度で推移するだろうと予想する。

WHOは02年11月に中国広東省で最初の患者が見つかり、8カ月後にWHOが終息宣言を出した。一般に毒性が強い患者が死なぬためウイルスの感染が広がりにくい。新型インフルエンザのように毒性が弱く患者が死なずに体内でウイルスが増え、感染が広がる。水谷教授は「毒性が弱い病原体は慢性的に広がる。今回このタイプだろう」と話す。収束まで長期化する恐れがある。慎重な意見もある。東北大学の押谷仁教授は「規模が大きく、まだ流行の特徴がつかめていない」と語る。「武漢や中国の他の都市でどう迎えるか、収束するの注視する必要がある」。感染力や毒性の見極めにはあと10日ほど必要との指摘もある。

予測数はさらに多い。2月4日までに武漢市の感染者数が約20万人に達したと予測した。香港大学も、1月25日時点で武漢市に7万5千人超の感染者がいるとみる。致死率は2%で、重症急性呼吸器症候群(SARS)を下回る。だが「各政府が把握していない感染者が多い可能性が高い」(鳥取大学の大槻公一)。(鳥取大学の大槻公一)がまた見つかったのではないかと推測する。感染力は今後同程度で推移するだろうと予想する。

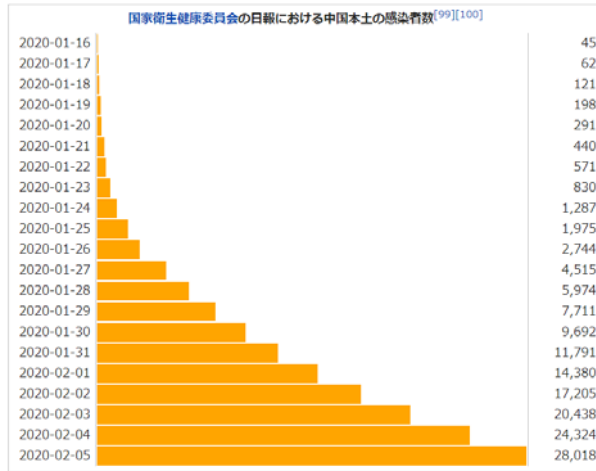
「関連記事3、4、11面、社会面」
厚生労働省は5日、横浜沖に停泊し検査を受けていたクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」の乗客ら10人から新型コロナウイルスの感染が見つかったと発表した。国内の感染者は計35人(午後9時時点)となった。乗客らをしばらく船内にとどめ、日本全土へ感染が広がるリスクを抑えようとしている。問題は肺炎や発熱などの症状がない人も含め、すでに国内外で感染が広がっていることだ。

北海道大学の西浦博教授は「現時点で10万人以上が感染している可能性がある」との見方を示す。SARSは02年11月にメキシコなどで流行した新型インフルエンザに近い広がり方をしているのではないかと、大槻名譽教授とみる専門家は多い。

似ているのが致死率の低さや症状だ。09年の新型インフルエンザの致死率は0.5%未満とされる。約10%のSARSより数字が近く、発熱など症状も似ている。

感染力について世界保健機関(WHO)は、患者1人から1.4～2.5人にうつっているとの数値を示している。東京農工大学の水谷哲也教授は、1人の発症者が多くの人に感染を広げる「スーパーフレグダー」(鳥取大学の大槻公一)がまた見つかったのではないかと推測する。感染力は今後同程度で推移するだろうと予想する。

中国大陸



新型肺炎の患者数推移 1月27日推算

| 経過 | | 報告数 | | 計算値 | | |
|----|-------|------|------|-------|---------|-------|
| 日数 | 月 日 | 患者数 | LOG | LOG | 患者数 | |
| 1 | 1月 17 | 41 | 1.61 | 1.674 | 47 | |
| 2 | 18 | 42 | 1.62 | 1.858 | 72 | |
| 3 | 19 | 200 | 2.30 | 2.043 | 110 | |
| 4 | 20 | 210 | 2.32 | 2.228 | 169 | |
| 5 | 21 | 220 | 2.34 | 2.412 | 258 | |
| 6 | 22 | 470 | 2.67 | 2.597 | 395 | |
| 7 | 23 | 620 | 2.79 | 2.781 | 605 | |
| 8 | 24 | | | 2.966 | 925 | |
| 9 | 25 | | | 3.151 | 1414 | |
| 10 | 26 | | | 3.335 | 2164 | |
| 11 | 27 | 2800 | 3.45 | 3.52 | 3310 | |
| 12 | 28 | | | 3.704 | 5063 | |
| 13 | 29 | | | 3.889 | 7745 | |
| 14 | 30 | | | 4.074 | 11847 | |
| 15 | 31 | | | 4.258 | 18122 | |
| 16 | 2月 1 | | | 4.443 | 27720 | |
| 17 | 2 | | | 4.627 | 42403 | |
| 18 | 3 | | | 4.812 | 64863 | |
| 19 | 4 | | | 4.997 | 99220 | |
| 20 | 5 | | | 5.181 | 151775 | 15万人 |
| 21 | 6 | | | 5.366 | 232167 | |
| 22 | 7 | | | 5.55 | 355140 | |
| 23 | 8 | | | 5.735 | 543250 | |
| 24 | 9 | | | 5.92 | 830998 | |
| 25 | 10 | | | 6.104 | 1271159 | 127万人 |

右の表は 2009 年の新型インフルエンザの感染者数の伸びを参考に、今回の新型肺炎感染者数の伸びを予測したものである。その算出の方法は次のブログに示した。

新型肺炎患者は指数関数的に増加していく 1.6 日ごとに倍々ゲームの脅威 1月28日
<http://www.alchemist.jp/Blog/200128.pdf>

新型インフルエンザの患者数と死者数の推移 2009年05月05日
https://highsociety.at.webry.info/200905/article_9.html

今回の新型肺炎感染者数の急激な増加は、WHO も認識していたはずである。それにもかかわらず中国に付度し、世界に警告する機会を誤った。その結果、武漢市から中国一円に、そして中国から世界各国へこの新型肺炎は急速に拡散することとなった。日本経済新聞記事「WHO のガバナンス改革」(次ページ)を参照。

世界保健機関 (Wikipedia)

WHO は、人間の健康を基本的人権の一つと捉え、その達成を目的として設立された国際連合の専門機関 (国際連合機関) である。1948 年設立。本部はスイス・ジュネーヴ。組織の肥大化と共に企業との癒着構造が問題として指摘されている。

そして昨日のブログにも記したが有事の株高が進行中である。

株式市場の「有事は買い」の格言通りにここ 2 日は日経平均も上昇してはいるが
<http://www.alchemist.jp/Blog/200205.pdf>

大機小機

世界保健機関(WHO)は1月30日、中国発の新型コロナウイルスを「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」と認定した。決定文を載せたWHOのホームページには、大きな写真が添えられている。

空港の建物からマスク姿の人が多数出てくる光景で、春節の旅行客だと察しがつく。建物にはハンガルの表示。韓国かと思いきや、写真の左端に視線を転じれば目を疑った。NTTとおぼしき緑色の公衆電話があったからだ。これは日本の空港ではないか。調べると、写真映像代理店ゲッティイメージスが1月24日に配信した写真である。説明には成田国際空港とある。春節の旅行客が新型肺炎の感染を世界に広めたのは否め

WHOのガバナンス改革

ない。それにしても新型肺炎への緊急事態宣言に際し、もともと感染源である中国以外の国の写真を載せるとは、WHOという機関は一体どんな神経をしているのだろうか。WHOは1月22、23日に開いた会合では緊急事態の宣言を原案送った。中国が見送りを求めて圧力をかけた。仏紙ルモンドはそう伝える。友好国と組み声を高めて反対したのだ。1週間に消費する間にも、感染は一段と広まった。ようやく緊急事態を宣言した際の記者会見でも、テドロス事務局長は中国への忖度(そんたく)に終始した。中国の措置を称賛する耳を疑うばかりの発言。中国との渡航・貿易制限に反対することも、感染を拡大した中国を免責しようとする意向が透けて見える。テドロス氏はエチオピアの元保健相で元外相。そのエチ

日本経済新聞「円安定へ『クジラ』動く?」参照。そして次の記事にも注目。

NY株見通し-米中通商交渉の進展期待で堅調持続か

2月6日 21時52分 配信 トレーダーズ・ウェブ

今晚のNY市場は堅調持続か。

昨日は中国で新型コロナウイルスの治療薬が発見されたとの報道などを受けて新型肺炎感染拡大への懸念が和らいだほか、米経済指標が強い結果となったことなどが好感され主要3指数がそろって3日続伸。S&P500が半月ぶりに史上最高値を更新し、ナスダック総合も最高値更新が続いた。今晚の取引では、トランプ米大統領の弾劾裁判が終了したことや、米大統領選の民主党の候補者選で左派系候補の票が伸びなかったことなどが支援材料となるほか、アジア時間で中国が750億ドル相当分の米国産品の輸入関税を引き下げることを発表したことで、米中通商関係の一段の改善期待も追い風になりそうだ。

円安定へ「クジラ」動く?

新型肺炎 GPIFが売りの見方

新型肺炎の感染拡大が世界経済に影響を及ぼすなか、「有事」に円高圧力がかりやすくなった対ドルの円相場が安定している。1月末に110・830銭まで上昇したが、5日は109・9円台半ばまで推移した。中国人民銀行(中央銀行)による巨額の資金供給に加え、日本政府が「クジラ」と称する山卸買入線の年金基金を動かしたのではないかと市場関係者が出ている。

人民元供給と協調か

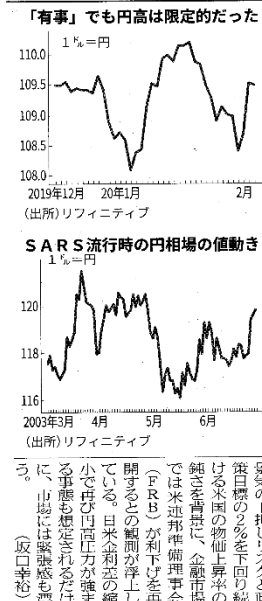
ボジション

人民元供給と協調か。中国の資金供給だが、市場には、透明性がない。世界的な市場向けの東京市場の動向を懸念して、GPIFを通じて円売りを行ったとの見方が浮上した。3日の円相場は取引開始直後は108・90/40、日銀の山卸買入総数は41兆円(約10兆ドル)に達した。テドロス回遊の1兆円(約10兆ドル)の買入総数は、1日のオペレーションは、710億円の買入総額。1月のオペレーションは、1兆円(約10兆ドル)の規模で、春節(旧正月)連休明けを控えて、新型肺炎が金融市場や経済に及ぼす負の影響を緩和するねらいがあった。

新型肺炎の感染拡大が世界経済に影響を及ぼすなか、「有事」に円高圧力がかりやすくなった対ドルの円相場が安定している。1月末に110・830銭まで上昇したが、5日は109・9円台半ばまで推移した。中国人民銀行(中央銀行)による巨額の資金供給に加え、日本政府が「クジラ」と称する山卸買入線の年金基金を動かしたのではないかと市場関係者が出ている。

中国の資金供給だが、市場には、透明性がない。世界的な市場向けの東京市場の動向を懸念して、GPIFを通じて円売りを行ったとの見方が浮上した。3日の円相場は取引開始直後は108・90/40、日銀の山卸買入総数は41兆円(約10兆ドル)に達した。テドロス回遊の1兆円(約10兆ドル)の買入総数は、1日のオペレーションは、710億円の買入総額。1月のオペレーションは、1兆円(約10兆ドル)の規模で、春節(旧正月)連休明けを控えて、新型肺炎が金融市場や経済に及ぼす負の影響を緩和するねらいがあった。

中国の資金供給だが、市場には、透明性がない。世界的な市場向けの東京市場の動向を懸念して、GPIFを通じて円売りを行ったとの見方が浮上した。3日の円相場は取引開始直後は108・90/40、日銀の山卸買入総数は41兆円(約10兆ドル)に達した。テドロス回遊の1兆円(約10兆ドル)の買入総数は、1日のオペレーションは、710億円の買入総額。1月のオペレーションは、1兆円(約10兆ドル)の規模で、春節(旧正月)連休明けを控えて、新型肺炎が金融市場や経済に及ぼす負の影響を緩和するねらいがあった。



中国経済の存在感が格段に増しているためだ。国際通貨基金(IMF)のグローバル・エグゼクティブ・サマリーによると、世界経済の成長率の減速幅は0・1%にとどまった。中国経済が世界に占める割合は当時の4%から現在は18%まで拡大した。中国は、日本国内だけを見ても、中国人は訪日外国人(インバウンド)の3割を占め、個人消費への影響は避けられない。野村総合研究所の木内政英氏はSARSの時と同様でインバウンドが落ちれば、日本の国内総生産(GDP)を7・60億円、0・14%押し下げる」と試算する。日銀は「現時点で追加緩和の検討は」とをまとめた。日銀は「1月24日の山卸買入総額は、1兆円(約10兆ドル)に達した。テドロス回遊の1兆円(約10兆ドル)の買入総額は、1日のオペレーションは、710億円の買入総額。1月のオペレーションは、1兆円(約10兆ドル)の規模で、春節(旧正月)連休明けを控えて、新型肺炎が金融市場や経済に及ぼす負の影響を緩和するねらいがあった。